

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【公開番号】特開2022-69414(P2022-69414A)

【公開日】令和4年5月11日(2022.5.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-082

【出願番号】特願2021-170964(P2021-170964)

【国際特許分類】

C 2 2 C 9/00(2006.01)

H 0 1 B 5/00(2006.01)

C 2 2 F 1/00(2006.01)

C 2 2 F 1/08(2006.01)

【F I】

C 2 2 C 9/00

H 0 1 B 5/00 Z

C 2 2 F 1/00 6 0 4

C 2 2 F 1/00 6 1 3

C 2 2 F 1/00 6 2 3

C 2 2 F 1/00 6 3 0 A

C 2 2 F 1/00 6 3 0 K

C 2 2 F 1/00 6 6 1 A

C 2 2 F 1/00 6 8 1

C 2 2 F 1/00 6 8 2

C 2 2 F 1/00 6 8 3

C 2 2 F 1/00 6 8 5 A

C 2 2 F 1/00 6 8 5 Z

C 2 2 F 1/00 6 9 1 A

C 2 2 F 1/00 6 9 1 B

C 2 2 F 1/00 6 9 1 C

C 2 2 F 1/00 6 9 1 Z

C 2 2 F 1/00 6 9 2 A

C 2 2 F 1/00 6 9 4 A

C 2 2 F 1/00 6 9 4 B

C 2 2 F 1/08 B

C 2 2 F 1/00 6 5 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月28日(2022.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

エッジワイズ曲げ加工が施されるスリット銅材であって、

Cuの純度が99.96mass%以上であり、板幅Wと板厚tとの比 W/t が10以上とされ、

導電率が97.0%IACS以上とされ、

板厚中心部において、 $\phi 2 = 5^\circ$ 、 $\phi 1 = 0^\circ \sim 90^\circ$ 、 $\phi = 0^\circ$ の範囲における方位密

10

20

30

40

50

度の平均値が 2.0 以上 30.0 未満であることを特徴とするスリット銅材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上述の知見に基づいてなされたものであって、本発明の一態様に係るスリット銅材は、エッジワイズ曲げ加工が施されるスリット銅材であって、Cuの純度が99.96mass%以上であり、板幅Wと板厚tとの比 W/t が10以上とされたスリット銅材であって、導電率が97.0%IACS以上とされ、板厚中心部において、 $\phi 2 = 5^\circ$ 、 $\phi 1 = 0^\circ \sim 90^\circ$ 、 $\phi = 0^\circ$ の範囲における方位密度の平均値が2.0以上30.0未満であることを特徴としている。

10

20

30

40

50